

弱点を克服し、長所を伸ばす

校長 武井 正明

先日やった標準学力検査（NRT）の結果がでました。それを私なりに大雑把に分析しました。基礎的な部分をやり切れていない人たちが、少しでも漢字や計算、英単語などに取り組むようになるだけでも随分違うのだらうということがわかりました。

【国語】漢字の力がとにかく弱い。やっぱり漢字が書けるように練習することが大事。

理解力には可能性があります。これは長善タイムや読解力育成に重点を置いてきた効果もうかがえます。言葉をしっかり読む習慣づけをしましょう。

【数学】計算や数式が弱い。いずれの学年も前年の計算が弱い。春休みは新3年は2年の計算を、新2年は1年時の計算を復習しておきましょう。

一方、図形のように目でイメージするのが得意な人が多いです。この辺は授業でもどんどん伸ばしていきたいです。

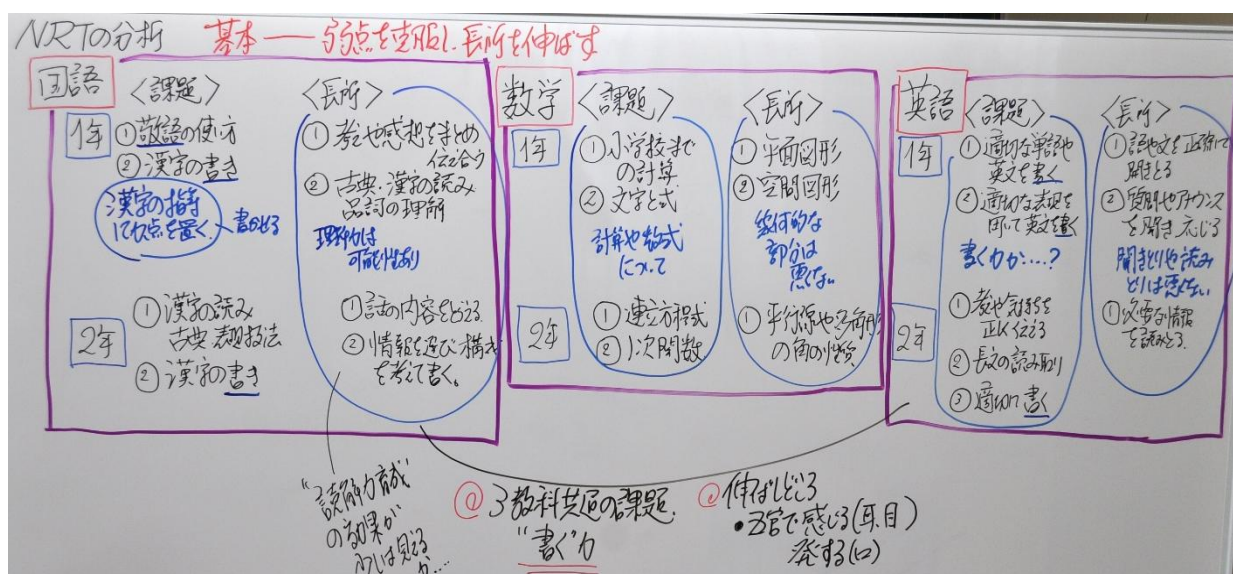
【英語】これも圧倒的に「書く」ことが苦手。書くことを苦にしないようにしたいですね。聞き取りや、言葉のやり取りは好きで得意な子が多そうです。英文を書くことに積極的に挑戦してほしいです。

【3教科共通】とにかく「書く力」が課題であることがわかりました。

得意なのは、五官で直感や感性で物事を捉える力。きっと技能教科で学んできたことも大きい。

【普段の生活から】・漢字を多く使って文を書くようにしましょう。

・「校長 vision」敢えて難しい漢字や四字熟語、ことわざ、故事成語を入れています。敬語も多用しています。実は、君たちに言葉を増やしてほしいねらいもあるのです。



さらに各教科の先生方で分析を深め、次年度、君たちの可能性を伸ばすために春休みに方策を考えていきます。